京城日報 朝刊

皇軍萬歲 奉祝シンガポール陷落

昭南港へ第一陣堂々入城！

英軍の權威、一夜で拂拭
胸一ぱいに膨らむ勝利感
敗軍の中を日章旗は進む

【昭南島十六日同盟】感激の昭南島進駐の日十六日入城第一陣大石、武本、中村、權田の各部隊はブキテマ地區を出發、大縦陣を連ねて市部へ向ふ、ブキテマ南方で二尺四方の大白旗を掲げ二臺の自動車に分乘した英軍接收委員とすれ違ふ時、陽を浴びた白旗の鮮明な輝きはかへつて憐れをそゝる、疾走することも十分もう敵陣最前線に達する 一帶は英人住宅街で深い植込みの壕が赤土を覗かせ、戰ひが烈しかつた處の集團から覗いてゐる、敵兵が一人、二人と現はれて來る、いづれも疲れきり泥だらけの服裝だ、『英軍は結局敗れたか、弱いことを認めたか』の問に對して英本土兵は『日本軍昭南島敵前上陸に際し濠洲兵は逸早く退却した、これが敗因だ』といふ、また濠洲兵は『氣どりやで口先ばかりの臆病な英本土兵と一緒では勝てぬ』といつて敗因のなすり合ひをしてゐる、進むにつれて英兵の數は増す、ラッフルス大學前に出る、こゝの庭は敵の砲兵陣地であつた、なんと見事なわが砲撃の着彈であらう、庭の隅から隅まで射ち拔いた砲撃の穴で緑の芝生はすつかり赤く掘りかへされてゐる、各部隊は市街に一歩を印した、砲彈の嵐に吹き荒らされ街の浮塵子の如き兵士、市民の大群が渦を卷いてゐる、七十日の戰線で友軍以外にこんな人間の大群を見なかつた目にはすこぶる異風景だ、何物をも恐れぬ勇士たちもなんだかちよつとてれくさいやうな顏である、日章旗をはためかして進むわが精鋭の進駐に生きとし生けるものは皆驚歎の瞳を見開いてゐるではないか、晴れがましい勝利感が勇士らの胸を一ぱいに膨らました、大石部隊は直ちに中央警察署に入り警察權の接收を開始する、取敢ず從來の警察官は、そのまゝ皇軍に協力せしむることを決定、一方未曾有の混亂に沸騰する街の治安確保に活動を開始する、市街の電氣、水道、その他公共諸施設は破壞されずにそのまゝ皇軍の手に無事に接收された、六萬の英軍の武裝解除はとんく進捗し百萬市民の臨來も戰鬪に進む、英軍の權威は只一夜にして地を拂つたのだ、中央停車場附近は英軍の氾濫で身動きも出來ない、驛の大時計は五時廿分で止つてゐる、大きな爆撃の穴がぶすりと屋根を拔いてゐる、直ぐ前面のエンパイヤードックの中に一千トン級の汽船が二隻擱坐されてゐる、傍らの倉庫は炎々と燃え續けてゐる、彼岸の正面には五千トン級の汽船が一隻、汚れた船腹を見せ、外港にはジャンクが數隻浮かんでゐるだけ、電話局、郵便局、市會議所、銀行などはいづれも赤十字の旗を出して野戰病院と化してゐる、大ビルディングの破壞の跡も酷熱の陽光に輝いてゐるが、その南側にはわが砲撃を避けた自動車の大群が密集してをり街といふ街に溢れる敗戰英軍の列の中に日章旗は進む

慘む敗者の悲哀
敵將パ中將を訪れる

【昭南港十七日同盟】十七日午前記者はわが軍門に降つた敵英軍の本據、總司令部をカニング要塞内に訪れた、昭南港市街を南端から道は上り坂になつてそこはすでにカニング要塞の外郭を形成してゐる、書込の森、熱帶樹の茂みにはまだ生々しい砲撃の跡が見え、砲門がムキ出しになつて天を睨んでゐる、わが猛烈な砲撃の着彈は見事に集中、ゴム林をへし折り赤土を晒してアスファルトの軍道路もいまは見る影もないが、丘の到るところにペトンの堅い壁が次第に數を増しそカニング要塞の中核近きを思はせる、いまや武器を捨てた英兵の動きは織るが如く記者の車を避けながら盛んに囁きあつてゐる、聲も立て得ない敗者の群だ、だらくく坂を幾曲りして英軍總司令部に到着した、交戰七〇七回の戰鬪指揮所は今座かのイギリス兵によつて守られながら無條件降伏の謀議を最後として敗殘の敵將パーシバル中將の靜かな追懷の場所と化したやうだ、住民の運轉手はその儘軍を總司令官邸の玄關に横着けにした、若い將校が力ない眼附で現はれた『總司令官は會へないとになつてゐるのです、お許し下さい』といつた、その時コトくく三階から降りて來たのがパーシバル將軍だつた、いきなり右手をさし出して『今日は』といつてやんわり手を握り返してきた、一昨日降伏申入れの席上で見た時より一層蒼ざめチョビ髭を指先で摘みながら『まだ日本軍當局から許可が出ない……

救出邦人氏名

【昭南島十七日同盟】チャンギー要塞監獄に收容されてゐた昭南港在留邦人廿四名は十六日午後八時わが○○部隊の手によつて救ひ出されたがその氏名は左の如し

篠崎俤(三〇)＝領事館員、福岡縣、中村千△(三〇)＝歯科醫師、長野縣、佐々木寶(三〇)＝島根縣、平山政二(三〇)＝長崎縣、大木吉則(四〇)＝鹿兒島縣、荒木寅雄(五〇)＝東京府、宮城大進(三〇)王城武吉(三〇)富山源温(三〇)石峰公信(三〇)大城昌源(三〇)城間幸吉(三〇)上原龜四郎(三〇)平島勵(三〇)以上沖繩縣、巫文進(三〇)杜瑞坤(三〇)陳義成、以上台灣、李玉雄、金東根、林春士、以上朝鮮、中木はる、蒲原さつ、杉本ふで、山崎とり、以上出身地不詳

醜態・米英の泥試合
なすり合ふ獅港敗戰

【リスボン十六日同盟】シンガポール陷落により英國は東亞における最大據點を失ひ日本の大東亞戰完遂作戰はこれを一契機として雄大なる飛躍をもつてまた南方に進展せんとしてゐるが、これを機會に米英陣營には敗戰の責任を轉嫁し相手方の態度を難詰せんとする聲が起り、敗戰責任回避の泥試合的醜狀を暴露してゐる、英國は米國に對し米艦隊が英軍と協力して日本軍の増援部隊輸送を遮斷する擧に出なかつたことおよびシンガポールに對する飛行機輸送が遲延したことに對し辛辣な非難の聲を放つてゐるが、これに對し米國は英國に對し米國がシンガポールに輸送した飛行機が包裝された儘放置されてゐたと應じて攻撃を浴びせてゐる、それは恰度フランス崩壞の時に英佛間に見られた相互の責任轉嫁と同樣な印象を與へてゐる、眞珠灣敗戰後英國の新聞がこれを如何なる言辭を用ひて宣傳に使つたかは知らないが、米國の新聞論調はシンガポールにおいて婉曲ないひ廻しを使はず、英軍が日本軍の總攻擊を受けながらもなほ防戰に躍起となつてゐるのに極めて冷淡でシンガポール陷落の日本大本營發表をむしろ易々諾々として受取つたかの風にみえた、戰爭仲間が敗戰を經驗した時、この種の泥試合的醜聞を生ずることは常にみられるところであるが、ノルウエー戰後のフランスの英國に對する非難は米國のシンガポール陷落に對する批評よりずつと激烈なものであつた、これに加へてドイツ艦隊がビレスト脱出を試みドーヴァ海峽通過に成功したとの報は、米國を一層失望せしめ英近海の航路さへ脅威を受けるに至つて……

濠首相・悲鳴をあぐ

カーチン首相

上海特電【十七日發】カンベラ來電によればオーストラリヤ首相カーチンは十六日シンガポールの陷落はオーストラリヤにとつてのダンケルク敗戰であると絶叫、次の如くアメリカの救援要請の懇望を行つた『シンガポール陷落はオーストラリヤにとつてのダンケルク敗戰である、今やオーストラリヤ……

チヤーチル苦悶

社説 祝へ戰捷日本

東亞の英最後の據點シンガポール遂に陷落して、けふ榮光に輝く『戰捷第一次祝賀日』を迎へる。何に譬へん、この感激、この歡喜。我々は千載一遇のこの勝利の日、聖代に生れ合せたことを何よりもまづ至福に思ふものである。

◇

大東亞戰爭以來、皇軍が太平洋上に打ちたてた數々の勝利の金字塔は不滅の戰史として燦として輝いてゐる。もとよりこれ御稜威の然らしめるところであるが、なほ忠勇無雙なる皇軍の勇戰奮鬪が間斷なく續けられてゐることを思はねばならぬ。寔に感謝、感激の外はない。今やシンガポールは陷落して、東亞よりの米英勢力驅逐の覇業は成らんとしてゐる。そして大東亞建設の偉業は着々として進められつゝある。實にそれは新世界史の推動であり、我々はその逞しき建設の脈搏を未だ曾つて經驗せざる歷史的な感動の中に聽くのである。我々は日本を驕傲するのだ。この一擊に眼へるの感激は何ものにも代へ難き、この幸福と感謝の念を歡喜と感激の中にも永久に忘れてはならぬのである。

◇

斯くてけふ、その歡喜と感激をのせて全國津々浦々、一億國民は一齊に戰捷を壽ぎ、祝賀行事の華々しき大繪卷が繰展げられる。まことに意義深いことである。今こそ國民の一人一人が腹の底から勝利を祕つて、祕ひ拔かうではないか。然し戰ひは未だ終つてゐない。米英の勢力を地球の上から抹殺するまでは大東亞戰爭は續くのだ。我々はこの長期戰に堪へ得る力と精神を今にして確保して置く要がある。勝つて兜の緒を締めよ。我々は徒らに戰捷の酒に醉ひ潰れてはならぬのである。我が與へられたこの歡喜と感激に眼へるの途は總力擧げての緊張である。それは職域奉公であり、滅私奉公である。

內務次官決定す
山崎海軍政顧問起用

……內務大臣親任に伴ふ後任次官は十七日詮衡の結果元警視總監、海軍政顧問山崎巖氏に決定、即日左の……

任內務次官(一等) 從四位勳三等 山崎巖

山崎新次官略歷

行政機構改革 一應沙汰やみ
湯澤新內相談

內相事務引繼

祖國の獨立に蹶起
在日印度人實踐運動へ

外交官交換
原則的に成立

敵屍一萬一千
北支軍十一月戰果

婦人啓發、下情上通實踐へ

伊六十一潜水艦殉職者氏名

新体制 賣手も買手も ありがたう！

天地に轟け大萬歳
けふ戰捷第一次祝賀日

祝へ、祝へ、祝へ！おほいなる歷史の朝は明けたのだ、シンガポールは陥ちたのだ、わが忠勇の將兵は東亞十億の鐵鎖を取り去つたぞ、聖戰の意義はすでに達成され、歷史を貫く肇國の精神はいまこそ顯現されたのだ、打ち揚げる感激の烽火は全鮮を包み、全國を包み、全東亞を包んでひしめきどよめく、どよめけ、どよめけ、地殼を搖かせ！双手を擧げろ、歡聲を揚げろ！祝へ祝へと戰捷第一次祝賀日は民一億の歡喜を爆發させてけふ十八日一齊に放列を布いた、この日半島の首都京城ではつぎ〳〵と無數に打ち揚げられる本社の奉祝花火によつて朝を迎へ、

熱狂の大衆は午前十時朝鮮神宮の大前に開かれる朝鮮、京畿、京城三聯盟主催の〝戰捷奉告並に征戰貫徹祈願祭〟に頭を垂れて神前に感謝すれば、街は日の丸の旗に搖れ朝日に輝き、午後一時からは五十有餘の府内全學校をはじめ會社、工場、商店などの旗行列が練つてゆき、府民館では京城府、本社主催の奉祝會が幟ぽんぼりに舞台を飾つて幕を開く、これにつゞいて午後五時には同館に聯盟、愛婦、國婦、聯軍主催の『戰捷祝賀會』が約三千を集めて行はれ、奉祝第一日は行事に埋つて絢爛の繪巻を展げるのだ、この間にも花電車はひねもす轟々として街を練り廻り、DKの錄音隊は早朝から街の各所に飛び出して感激の歷史を永久に記錄することとなつたが、この日、南山の聖域から打ち揚げられる本社の奉祝花火の中の落下傘と國旗を拾得持參した方には賞品を贈ることとなつてゐる

電波に乘る感激
けふDKで錄音放送

一億國民がかつて一度も經驗し得なかつた感激と感謝でひとしく迎へる第一次戰捷祝賀日の十八日京城中央放送局では全半島のラジオを動員して大東亞黎明の歡喜をそのまゝ半島二千五百萬愛國班員におくることゝなつた

この日DKでは京城府内に一組の錄音班を動員して巷間に渦卷く勝利の感激を縮圖して錄音する外午前十時ニュースに引續き京城百萬府民が大神の御前に捧げる戰捷奉告並に聖戰完遂祈願祭の實況を福永アナウンサーが朝鮮神宮拜殿から中繼する

正午には東條內閣總理大臣が放送と題して一億國民に喜びをわかてば一時三十分からは日比谷公會堂から國民大會を中繼、かくて戰捷に輝く歡華プロは電波に乘り東亞七億民のまへに繰展げられてゆく五時戰捷祝賀會實況が府民館中講堂から植村アナウンサーによつて放送され引續き六時唱歌組曲「太平洋を征く」南山國民學校、京城放送合唱團、伴奏京城放送管絃樂團、九時勝利の感激（錄音）が總激の縮圖として放送される、なほ時間は未定であるが東亞各地便りとして北京、張家口、上海、南京、新京、台北、の各地のマイクから異色ある電波が流れるはず

共榮圏確立は婦人の手から
一、婦德の涵養　二、子女の育成　三、生活の刷新

「大東亞共榮圏の指導者養成の重責は世帯にある、婦人啓發運動はこれを徹底的に行はねばならぬ」との南總督の先唱に從ひ聯盟指導委員會では直ちに

婦人　啓發運動要綱作成に乘り出したが、十七日の定例指導委員會席上で左の運動要綱が決定發表された、運動目標は第一婦德の涵養、第二子女の育成、第三生活の刷新の三項目で、聯盟では婦人指導委員を中心に司政局、聯盟事務局、民間婦人有力者等をましへて大戰下の婦人に課せられた

重大　任務を遂行せしめようとし次の通り實踐事項をあげてゐる

第一　婦德の涵養
【イ】國體の尊さに感銘する【ロ】神明を敬ふ【ハ】內鮮一體に徹する【ニ】「何事も大君の御爲に、御國の爲に」といふ心を養ふ【ホ】よく親に仕へまた妻たるの分を盡す【ヘ】女らしさと凛々しさを養ふ【ト】禮儀を正しくする【チ】知識の向上に努める

第二　子女の育成
【イ】子女を大御寶として育てる【ロ】子女を正しく強く慈しみ育てる【ハ】子女の

手本　になる【ニ】子女の躾をよくする【ホ】學校と充分連絡をとる

第三　生活の刷新
【イ】時局の認識に努める【ロ】經濟知識を養ふ【ハ】衣食住の改善を圖る【ニ】物資を愛護活用する【ホ】貯蓄を勵行する【ヘ】家庭經濟の中心となる【ト】全家勤勞に勵む【チ】國語を常用する【リ】陋習を打破する【ヌ】家庭衛生に注意する【ル】國防訓練に努める【ヲ】軍事援護に力める

推進　聯盟では運動要綱成つたので特別期間を設けず直ちに實踐運動を開始するが、特に運動推進者として婦人指導委員の活動に俟つことになつたが、このほか指導者の講習會、講演會、紙芝居の活用などにより運動の滲透を圖る

陸軍通譯募集
【東京電話】陸軍では益々擴大する南方諸地域の帝國占領地域において勤務する陸軍通譯（奏任官、判任官待遇）を大量募集する、志願資格は身體強健な六十歳以下の男子であるが、徵兵檢査未濟者、徵兵檢査の結果現役兵に決定してゐるもの、昭和十六年度徵兵檢査受檢者で未だ在營中のもの、または昭和十七年度臨時徵兵檢査受檢豫定の學生生徒は除外される、採否は試驗のうへ決定する

志願者は願書（陸軍大臣宛）履歷書（自筆で語學に關する事項および兵役關係は特に詳細に記入する）戶籍抄本、寫眞身體檢査表、身分證明書を取揃へ二月末日までに東京市牛込區陸軍省人事局補任課宛郵送すればよい

國語解得軍屬募集
軍經理部では滿十九歳から三十五歳までの國語解得の國民學校卒業者を軍屬として廣く一般から募集してゐるが、募集要項は次のやうになつてゐる

一、申込先　京城職業紹介所
一、締切二月二十日迄に一、提出書類　履歷書、寫眞、戶籍抄本府尹及び邑面長の身元證明書、採用願各一通一、詮衡日時　二月二十六日午前十時一、集合時刻　二月二十六日午前九時一、集合場所　京城職業紹介所一、合格者現地赴任期日　四月上旬頃一、待遇方法　初任給月額五十圓以上（日給一圓八十錢）年二回賞與、現地赴任旅費支給

銅像が魂の應召
彈丸となる故目賀田男爵

朝鮮最初の銅像が魂の彈丸となつて第一線へ―京城竹添町一丁目金融組合聯合會では今回同事務所前庭の一角に巍然と聳立、朝夕、街の人々から親しまれてゐた我が半島財政、金融、經濟界の先覺、朝鮮金融組合の創設者故目賀田男爵の銅像を活用、金屬回收運動の國策線に乘せて斷然國家に獻納することに決定、近く

盛大　な銅像の應收式を擧げることになつた

銅像は、故男爵が、舊韓國政府から招聘され、明治三十七年八月、財政顧問として渡韓以來、舊韓半島の財政々策刷新に當り、幣制を根本的に改革、或は貨幣制度の改善に、金融機關の整備に、殘した偉大な功績を永く傳へるため銅像を建て永遠にその勳功を讃へられたもので、朝鮮最初の頌德銅像として印象も深く百萬府民に馴染まれた、昭和十四年十月十六日、官民知名の

あゝこの血書に泣け
小指を切つて白衣の天使志願
龍谷高女の四人組

「御民われ生けるしるしあり天地の榮えゆく時にあへらく思へば」……榮え行く大東亞の下、御楯となつて進む男達に仕へて共に靖國の神を護ふ處女四人が自らの指を切つてしたゝる純血を白布に染め『忠誠報國』と書き拔いて麗しい白衣の天使を願ひ出た涙ぐましい殉國佳話が新嘉坡陥落の感激と共に浮き上つた……

京城新堂町龍谷高等女學校學監栗本正信氏が數日前生徒の健康を調査したところその中の四年生梅組の淺川民子、中野ケツヲ、西田知子、松山綱子さんらが同じやうに左の小指に繃帶をしてゐるのを發見、早速事情を訊ひ、さるを前置きして原因を追及してみると初めは顏を見合せてゐた四人も最後に『血書したのです』と次のやうに物語つた

『私達は先日赤十字に志願したのですが、女子としてぜひ名譽ある看護婦になつて兵隊さんと一緒に命を捧げる決心で血書をしたのです』

と乙女心にも決意した次第を述べてまだ香りの失せぬ生々しい血潮で赤誠の四字を浮かした白布を取り出した、これを知つた同學監も感激して早速これを赤十字府朝鮮本部に持參したところ同社でも強く感じて

「この上はぜひ試驗に合格できるやう勉強して下さい」

と快くこれを納めた、同校では新嘉坡陥落の十五日、全校生徒を集めてこれを發表したが

「必ずしも指を切らないでもよいからその心がけで進んで下さい」

と訓示して全校生の感激を浴びた

【寫眞＝右から栗本先生、淺川、西田、松山の三嬢】

〝わしや喋りたくない〟
苦虫嚙んだやうなトーマスさん

【シンガポール十七日同盟】十六日記者はトーマス・マレー總督官邸を訪れた、日比谷公園の十數倍もありさうな豪華な官邸の庭園は滅茶苦茶に砲彈で穴があき所々に高射機關銃がうち捨てられ階の方には繃帶をつけた衛兵がうよ〳〵してゐる、どうも氣持が惡い、玄關をかけ上ると二人の兵士がゐる、總督に會見したいと申込むとどうぞといふ、二階も滅茶苦茶に砲撃や爆撃をうけ廿疊敷ほどの廣間の天井も大穴があいて空が見え檯台の脚は折れ鏡台は破れて見るかげもない、すると恐ろしく背の高い男がひよつこり出て來た「君は誰だ」と問ふと「わしは總督だ」と答へる「無條件降伏の感想を聞きたい」「わたくしはなんにもしやべりたくない」といひながらくるりと踵を返して隣室に入つた、さうして今度は右手になにか重さうにぶらさげて入つて來た、よく見ると直徑六寸、長さ一尺五寸位の砲彈の彈體だ「これが日本の砲彈だ、わしの寢室の天井から無斷で飛び込んで來た、ステッキ立にな る、記念に君にやらう」とそのまゝ顏をふせてさつさと階下に消えてしまつた、記者のトーマス總督訪問はあつ氣なく終つたのであつた

【寫眞＝トーマス總督】

〝能率〟へ殺到
講習會へ課長さんも

第一回事務能率增進運動は十八日の事務能率增進展覽會（丁子屋）を皮切りに二月八日まで展開されるが、廿二日から四日間行はれる講習會の聽講申込者は既に四十餘名に達し各會社、銀行等の會計、庶務、總務課からの申込がなほ相當あるので廿二日までには百名を突破する見込みである

これ等の申込者の中にはおヒゲも勇しい總務部長さん、會計課長さんの名も數人見え戰時下の、能率增進運動に各方面の眞劍な協力が窺はれ主催者側の會議所でこれに力を得て更に多數の聽

花傘を貫く敵彈
壯烈！カカスの落下傘部隊

【〇〇基地にて十七日足立海軍報道班員同盟】蘭印セレベスのカカス飛行場が一月十一日奇襲として皇軍に占領された、海戰艦から距ること數十キロ、敵の眞つ只中のこの攻略占領はわが海軍落下傘部隊によつてなされたものである、記者の便乘した飛行機はカカス飛行場上空を旋回してゐた、見事な編隊を組んだ輸送機が堂々と銀翼を張つて飛行場上空へ進入したとみるや落下傘勇士が次々に降下して行つた、それは花園に開いた花のやうに美しい瞬間であつた、落下傘は静かに大地へ着いた、そして白絹の花瓣を大きく芝生の上に閉した、今こそ地上では激烈な戰闘が展開されてゐるのであらう、しかし敵地ののちには、わが勇士は飛行場を確保して、さらにカカス市街の掃蕩を完了してしまつた、そして記者は着陸のゝち勇士らの語る言葉にたゞ感激するばかりであつた

【寫眞＝降下後間速に附近の敵を掃蕩し時を移さず奥地へ殘敵を追つて進撃せんとす―海軍落下傘部隊長の訓示―海軍省許可】

敵の機銃彈
がくんと胴か吊り上げられて落下傘が開いた、そしてはじめて地上をみた、飛行場には一面にベリケードが築いてあつた

シュッ〳〵と音かして彈丸が落下傘を貫いて行くのが判つた、われ〳〵は傘の綱を操りながらうまくベリケードの間に着陸した、だがこの時敵彈は雨のやうに身邊を掠め、戰友はばた〳〵とやられる、われわれは地に伏してゐた、約廿メートル前方のトーチカ陣地が激しい十字砲火を吐いてゐるのだ、シュッシュッと敵の機銃彈が鐵兜を掠めて飛んだ、彈丸が土に當つて猛烈な土煙を立てわれ〳〵は武器の行李包を解きこれを身に着けなければならぬ、ナイフで土を掘り刻みながら行李包へ向つてにじり寄つて行つた、敵彈を受けて倒れてゐた〇〇隊長が猛々と身を起しながら『彈丸が來なくなつたぞ』と絶叫した、だが彈丸は來なくなつたのではなかつた、耳をやられた隊長には彈丸の音が聞えなかつたのだ『突つこめ』の號令とともに起上つた隊長の胸を敵彈は再び貫いた、壯烈な戰死であつた、この時敵の遺棄した重機を利用した一隊が武器に辿り着いてゐた

激烈な機銃
戰が展開された、そして他の一隊が陣地を迂回してトーチカ陣地に突擊を敢行した、かくして敵の防禦陣地はわが攻擊のまへに崩れ去つたのである、記者の胸には過ぐる日御用船のなかで受けた深い感激がまざまざと浮んでゐた、日本の本土を離れて〇〇基地へ向ふ途中記者は一御用船に同乘してゐた、その船中において死のやうな勝をうたれる情景に接したのである、そこには筋肉隆々たる廿歲前後の一團、若人たちの集團があつた、數十分にわたつて激しい訓練が續けられてゐた、それは過激な筋肉の運動を伴ふ訓練であつた、また他のデッキでは銃劍術が行はれてゐた、それは世間に行はれてゐる胴拔きではなくて〝胴拔き〟といふ

形式の試合
であつた、一人の兵隊はすでに十人位も相手にしたであらうか、もはやへト〳〵になつてゐた、もう斃れるかと思はれた、だが氣合だけは確かであつた、最後に裂帛の氣合と共に踏みこんだ銃先は見事に相手の胸を突き刺したのである、かくてその兵隊は初めて交替が許された

面を締め直さうとした時にちらとみた兵隊の顏面は蒼白であつた、その銃劍の訓練の嚴しさは子獅子を谷底へ突落すといふ親獅子の心にも似てゐた、また他の一團は手旗信號の訓練をやつてゐた、ここにも他の訓練に劣らぬ熱烈な敢闘精神が織り込まれてゐるやうであつた、このやうな激しい訓練がくまで、と日課が繰返されたのであつた、船が目的地に着くと記者は思つた、戰爭のさなか御用船のなかにおいてさへこの訓練である、かくてこそ敗れること

を知らぬ

皇軍の強さ
が生まれるであらう、ある日の夕べ記者は、舷側で一緒に肩を並べてゐた兵隊さんに『君は航空部隊ですか？』と聞くとにつこり笑つて答へた『それに似た部隊ですがもう少し凄いです』と、御用船が運んでゐるのが海軍落下傘部隊であることを知つたのは、それから暫く經つてからであつた、それを知つたとき記者は大きな驚きを隱すことが出來なかつた、暫くは口も利けないほどの深い感激に捉はれたのであつた、それから數日のゝちはからずも記者はわが國最初の落下傘部隊に從軍して勇士らと同じ大空を飛び同じ蘭印の土を踏んだのであつた

崔承喜公演延期
十八日行はれる筈であつた朝鮮軍事普及協會主催崔承喜舞踊公演會の軍人遺家族招待は都合により十八日は中止、十九日午前十時に變更されることとなつた、なほ當日の公演は夜間のみとし十九日、廿日の兩日が晝夜公演となつてゐる

鐵扉も應召
パゴダ公園から取外し

長い間京城百萬府民に親しまれた塔洞パゴダ公園入口の大鐵扉が十七日いよ〳〵取り除かれた、この鐵扉は同じく取りはづされた鐵柵と一緒に直ちに軍部に獻納されやがては府民の思ひを乘せて、南の空に米、英撃滅の砲彈となつて炸裂することだらう、通りすがりの府民の群は、鐵回收隊の取り外し作業に、ちよつと足を止めて懷しの鐵扉よさやうなら、頑張つて戰いてくれ、誰の目にもさう語つてゐる、街の鐵扉御用出しの一齣

【寫眞＝パゴダ公園鐵扉】

獻金部隊本社を占領
陥ちたぞ、陥ちたぞ、シンガポールが陥ちたのだ、京城百萬府民が待ちに待つたこの日、この時―ドッと湧きあがる感激をそのまゝ……十六日早朝から殺到した赤誠の獻金部隊に撮影班がたくマグネシュームもパッパッと威勢よく受付係は終日猫の手も借りたいいそがしさ―〝獻金する人の赤誠を湛へば……〟と嬉しい悲鳴をあげながらも受付係はその處理に大童だ、この日國防獻金として本社に寄託された金額、氏名は次の通り

▲一百圓京城府黃金町二ノ九六第一製藥株式會社京城出張所員一同▲十圓京城府黃金町一百一

能勢幸市氏
朝鮮總督府會計課長能勢幸市氏は病勢惡化し十七日午前七時逝去した、享年四十八、葬儀は十九日午後四時から町高野山別院において執行

夕刊 京城日報
京城日報社

昭南島(港)と呼稱

シンガポール島に日本名

大本營發表【十七日正午】シンガポール島(港)は爾今 昭南島(港)と呼稱することに定められたり

大和民族の大南進を記念

【東京電話】敵性シンガポールは陷落し一轉こゝに南方共榮圏建設の基地となり、大本營から十七日シンガポール島(港)を昭南島(港)と呼稱する旨發表されたが、この命名の因つて來るゆゑんは、聖恩輝く昭和の聖代、雄渾壯大なる南方作戰を進め、英の東洋侵略の牙城シンガポールを陷落せしめ、これを八紘一宇の理想に歸一し、世界新秩序建設に邁進するわが大和民族の大南進を記念したものである

軍港要塞を無條件で接收

【シンガポール十六日吉田海軍報道班員同盟】シンガポールにおけるイギリス側の全面的降伏により十六日正午から○○において開催された降伏處理分科委員會にわが海軍側から四委員が出席したが、かつてはその海軍力を世界に誇つてゐたイギリス側は東洋艦隊の全滅とともにこの委員會に出席する海軍首腦者は一人もゐないといふ哀れさ、やむなく退役のロビンソン大佐たゞ一人が代表として出席、結局日本側の要求するセレター軍港の全施設ケッペル軍港およびチャンギ要塞の接收を無條件で承認した

英人吸血の永年發達の施策

マレー復興へ

萬民苦樂を倶にせん

山下最高指揮官聲明す

【シンガポール十六日同盟】マレー方面軍最高指揮官山下中將は十六日降伏英軍の措置に關する協定成立と同時にシンガポールの占領に關する聲明を行つたが、右につきマレー方面軍は同日次の如く發表した

マレー方面軍發表

マレー方面最高指揮官山下奉文中將は十六日左の如き聲明を發表せり

抑々 シンガポールはイギリスの印度、濠洲、東亞制覇のため皆に連絡的樞軸たるのみならずまた侵略搾取のための牙城にして古來金城鐵壁を誇稱し難攻不落の要塞として自他ともに信ぜるところなり、しかるに軍がマレー攻略シンガポール復旅に着手するや二ケ月にして全半島を席捲し七日を出でずして堅壘を粉碎し印、濠、東亞におけるイギリス勢力は一擧にして土崩瓦解し要なき島、何ら價値なき陸上に化するに至れり

由來 イギリスは極端なる利己偏善の主義を保持傲然として他を蔑視するのみならず老獪、暴戻、傲慢を事とし不正不義を敢行してたゞ自己の利益にのみこれ努め世界を毒せしところ大なりしが、軍の作戰經過に徴するもまた彼らイギリス人のマレー民衆搾取吸血の跡は現在の事態に照し明瞭なるのみならず

作戰 の間その退却に際して一般民衆の僅少の資産、權益資源を徹底破壞しこれを侵逐あるひは破棄し、住家を燒却するなど民衆を塗炭の苦しみに投じて省みず、あるひは印度、濠洲軍を前線に配置し本國軍はシンガポールに留つて他を驅使しあるなどその利己主義、不仁、不義言語に絶し眞に人道の公敵と稱すべきなり

帝國 が今次隱忍自重の劍を揮つて起つに至りし所以は帝國隆昌の聖明に明かなるところにしてこゝにこれを贅言せずといへども吾人の希求するところは傲慢不正義なるイギリスを掃蕩し萬民苦樂をともに有無相通じ各民族各個人各その能に應じてその所を得せしむべく、いはゆる八紘一宇の大精神に基き正義により新秩序を整へ、東亞共榮圏を確立して世界の進歩を促進せしめんとするにほかならず

され ば軍は同國さらに四國近邊に所在するイギリス兵の殘滓を消掃殲滅を期するとともに永きにわたるイギリス人吸血の禍を一掃し、また今次蒙りたる戰禍を復興しマレーの永遠なる發達施策を講ぜんとす

マレ ー民衆はよく帝國の眞意を理解し、軍に協力し新秩序と共榮圏の迅速なる確立を期せんことを望む、もしそれ舊態依然として迷夢を追ひ私慾に專念し不仁を重ねあるひは治安を攪亂し、あるひは軍の指令に服せず軍行動を妨害する者に對しては軍は斷乎として之を排擊膺懲す、右シンガポール攻略に當り民衆にこれを示して謂ふところを明かにし過誤なからしめんとす

泰内閣一部改造

【バンコック十七日同盟】泰國では十六日内閣の一部を改造、ルアン・シン文相兼海軍長官を總理相に、經濟相兼藏相代理プラ・ボリパン氏を藏相專任とし、ピブン首相は自ら國防、外務のほかさらに文相を兼攝し戰時國防經濟部面を強化することゝなつた

五穀豐穰御祈念

天皇陛下 宮中三殿に御親拜

【東京電話】畏くも天皇陛下には宮中三殿に御親拜、年穀の豐熟と皇室の御繁榮、國力の充實發展を嚴しく御祈念あらせられ嚴かなる新年祭の御儀を行はせられた、この朝宮内省では松平宮相、同次官、同各官衙代表が參列、三條掌典ら…

畏くも天皇陛下には賢所に出御、三條掌典長恐懼して祝詞を奏し奉れば天皇陛下には黄櫨染の御袍の御束帶も神々しく午前八時半賢所内陣の御座に出御、御玉串をとらせ給ひ、親しく御拜あらせられ次で皇靈殿、神殿に御親拜、國の隆昌を御祈念あらせられて入御、御參列の神職員奉仕者一同の御儀を終へさせられた

けふ祈年祭の御儀

日本の手中

太平洋

米國朝野、極度に沈痛

【リスボン十六日同盟】ワシントン來電によれば、シンガポール陷落に對する米國朝野の反響は沈痛極まるもので米國內消息筋はこの結果英米はその太平洋基地を全部失ひ、對日戰爭はますます困難となるだらうと次の如く述べてゐる

シンガポールの失陷は英國だけの敗北であつて英米ともに、ハワイ敗戰よりはまだしもである、ハワイ敗戰における米軍の手拔かりと同樣英軍の油斷がシンガポール陷落の原因となつたのである、ハワイ敗戰は日米間の戰局を一轉太平洋を日本の手中に陷せしめたが、シンガポールの陷落は太平洋における反樞軸軍の作戰基地を全面的に喪失せしめ對日戰爭は今後いよいよ長引きかつ困難となることを覺悟せねばならない

ダフクーパー ロンドン着

【リスボン十六日同盟】ロンドン來電によれば東亞常駐相としてシンガポールにあり對日謀略に狂奔したダフクーパーはイギリス政府の召喚命令を受け去る一月十三日歸國の途についたが、十六日ダイアナ夫人同伴でロンドンに歸着した、折からロンドンにはシンガポール陷落の悲報が傳へられてゐたが彼は簡單に次の如く語つた

シンガポールについては今聞いた以外のことはなんにも知らぬ議會でもいろいろ論議されることと思ふが、自分はその矢面に立つ考へはない

靖國神社招魂式

合祀者一萬五千餘柱に達せん

來る四月廿三日執行

【東京電話】支那事變および滿洲事變に赫々たる武勳をたてた護國の英靈を靖國神社に合祀する招魂式は來る四月二十三日に、また大東亞戰爭下はじめて迎へる靖國神社臨時大祭は同月二十四日より二十八日まで五日間擧行の儀勅許あらせられたので、陸海軍當局ではこの有難き思召を拜して直ちに合祀者を調査し手續を進めてゐるが、今回の合祀者の範圍は昭和十四年十二月下旬までの戰死、戰傷死、傷病死、一萬五千餘柱に達する見込みで、ノモンハン事件戰歿者も含まれてゐる

定例局長會議

十七日の總督府定例局長會議は午前九時半から第二會議室に開催、南總督は各局長の所管事務報告に次で南總督は朝鮮の馬政振興について別項の如き官民の協力方を要望した、各局長報告左の如し

鈴川司政局長 總督府並に總力聯盟では昨秋來京畿、咸南北、江原、黄海、忠北、全南の七道について總力運動の運營實情視察を行ひ、概して各地とも良好であるが、特に希望したい點として總力運動をやゝもすれば精神的方面にのみ力を注いでゐるが、行政的全分野に亘つて活潑な推進力たらしめるべきだ、また地方の邑面職員中には總力運動に對して理解と熱意とを缺いてゐるむきがある、或ひは最近愛國班を利用して寄附金を募集してゐるが、これは愛國班の使命を曲解せるものでこれ等に對しては當局としても何等かの對策を講ずる必要がある

諏訪專賣局長 朝鮮製鹽工業會社が高橋敏氏を社長として十六日設立された、年産五萬五千瓲の製鹽をなす、同會社では眞空式製鹽法を用ひるがこれによれば從來の約七割の增産が可能である、北支の英米煙草トラストに專賣局からも顧問、技師を派遣することになり、近く天津工場の首席を顧問として入れるなほ英米煙草トラストは今後も興亞院の監督下にあつて事業を繼續する

眞崎學務局長 總督府編纂の教科書は國民校、中等校の增設に伴ひ增大の一途を辿り十六年度には二千萬冊を印刷したが五年後には國民校のみで五千萬冊を必要とするだらう、現在朝鮮書籍印刷會社で印刷中であるが、印刷能力の擴充を圖るためこのほど朝鮮教育圖書會社を設立

山澤農林局長 朝鮮馬事會設立について報告

朝鮮馬事會令

施行規則 競馬規則とともにけふ發布

來る二十日から實施

大東亞戰下軍馬資源の確保を期し馬の移殖增其他これが事業の強化を圖るを drop 下の急務とするため本府では之が遂行機關として朝鮮馬事會を創立することゝなり、右に關する朝鮮馬事會令を十四日制令をもつて公布、同令施行規則、これに伴ふ馬事會議馬規則を十七日附官報府令をもつて發布、二月廿日より實施することゝなつた、これによつて現行朝鮮競馬令は十九日附をもつて廢止される、而して馬事會の業務は今月末をもつて解散、朝鮮競馬規則と競馬令との異つた點は次の如くである

一、競馬の施行團體を馬事會としたこと

一、勝馬投票券は從來二圓以上二十圓となつてゐたのを五圓、十圓、二十圓の三種に限定すると共に二十圓の金額に至るまで分割發賣し得ること、即ち二十圓の金額になるまで五圓券なら四枚まで、十圓は二枚まで發賣することが出來る

なほ右に伴ひ從來の競馬の施行團體である朝鮮內の競馬俱樂部または各競馬協會は馬事會に一切の業務を引繼ぐこととなつてをり、十九日本府第三會議室で午前十時より各協會々長並に理事長を招集して解散事務の協議會を開催する、因に朝鮮馬事會の設立は設立委員の任命を俟つて廿五日から第一回設立委員會を開き三月一日に設立の豫定である

南總督談

朝鮮馬事會がこのほど設立され半島民間の各馬事團體は馬事會統轄の下に新發足を見せることになつたが、馬事について熱烈な關心を持つ南總督は「少くとも朝鮮の軍隊で使用する馬は朝鮮で補充するやうにしたい」と左の如く述べた

今回馬事團體が朝鮮にもつくられたが、馬事奬勵に就いては官民協力してその普及に力を入れて欲しい、日本の馬政は明治天皇が御奬勵にあられて以來官民擧つてその奬勵に努力して今日に至つたが、半島の馬事は內地に比して遅れてゐる、今回の馬事會設立によつて朝鮮でも少くとも朝鮮の軍隊で使用する馬は朝鮮で補充し得るやう半島市民の協力を切望する次第である

在ビルマ英軍敗退

日本軍 蘭貢目指し猛進擊

ストックホルム特電【十六日發】ロンドン來電によれば在ビルマイギリス軍當局はマルタバン北方、ラングーンに通ずる鐵道の要衝撤退に關し次の如く發表した=イギリス軍は優勢な敵の攻擊のため同地を去り新陣地を構築するの已むなきに至つた

專任內相に湯澤氏

內奏、御裁可を仰ぐ

湯澤新內相

【東京電話】=情報局總裁談=戰爭の進展にともなひ內外の情勢にかんがみ內務大臣の兼攝を解き專任內務大臣を置くことを適當と認めたので、今回內務次官湯澤三千男を內務大臣に奏請御裁可を得たり

けふ午後親任式

【東京電話】政府は大東亞戰爭の進展に即應し現下內外の情勢特に總選擧を控へ專任內務大臣を置くことを適當と認め、十七日の定例閣議に東條首相よりその旨を諮つて諒解を求め首相は午前十一時三十分閣議半ば宮中に參內、內務次官湯澤三千男氏を內務大臣に內奏御裁可を仰ぎ御前を退下して再び閣議に報告した、親任式は宮中の御都合を伺ひ同日午後四時頃執り行はせられる

定例閣議

【東京電話】十七日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開催、東條首相より現下內外の情勢に鑑み專任內務大臣を設置することに決し湯澤內務次官を奏請したい旨を諮り各閣僚の諒解を求め、首相は直に宮中に參內、內奏御裁可を經たる旨を報告し、終つて選擧對策その他當面の問題に關して種々懇談を遂げ午後零時十分散會した

伊號第六十一號

引揚げに成功

殉職者の遺骸收容完了

【東京電話】海軍省公表(二月十七日午前十一時)昭和十六年十月二日九州北西海面において夜間作業中僚艦と衝突沈沒せる伊號第六十一潜水艦の引揚げ作業は佐世保鎭守府司令長官以下關係者の異常なる努力によりあらゆる困難を克服しつゝ着々實施の歩を進めつゝありたるところ、遂に一月二十九日これが引揚げに成功、直ちに殉職者(准士官以上二十名、下士官兵五十一名)の遺骸收容に着手し、同月三十一日これを完了せり

カリブ海
アルバ島
コロンビア
ヴェネズエラ
パナマ

アルバ島(蘭領)に

獨艦、砲擊を敢行

米當局に異常な衝動

【リスボン十六日同盟】ワシントン來電によれば駐米ブラジル大使館當局はブラジル汽船ブアルケ號(トン數不明)が米國東岸沖で魚雷攻擊を受けた旨十六日發表した一方カリブ海のヴエネズエラ北岸地に近い蘭領クラサオ島來電によれば獨潜水艦はカリブ海において油槽船四隻に魚雷攻擊を加へ、さらにその西方蘭領アルバ島にあるスタンダード石油會社所屬世界最大の精油工場に砲擊を敢行した、アルバ島はパナマ運河を距たる一千百キロの距離にあり米當局をしてこの果敢なる攻擊に慄然たらしめてゐる

濠洲の危機增大

濠陸相、放送で强調

【リスボン十六日同盟】シドニー來電によればフォード濠陸相は十六日ラジオを通じて全濠洲國民に呼びかけシンガポール陷落により濠洲の危機が增大した事實を强調するとゝもに國民の動搖を戒めて左の如く述べた

刻下の戰局の發展を前に濠洲が狼狽する必要はないが、同時に情勢が極めて重大化した事實を否定するものではない、濠洲政府はシンガポール陷落の結果ならびにその防衞の要衝に對する危機は正しく切迫しかつ增大したが、その防衞は絕對に必要である、今や各人はその最善をつくし遲滯なく防衞の任務を遂行せねばならぬ

なほ濠洲政府は十六日情勢重大化にかんがみ防衞を强化するため三千五百萬ポンド新國防公債を發行する旨發表した

赤機四十六を擊墜破

獨、東部戰線で活躍

【ベルリン十六日同盟】ドイツ軍司令部十六日正午發表=一、東部戰線中央部におけるドイツ軍は赤軍の一部を捕捉して大打擊を與へるとともに捕虜八百名ならびに火砲十四門を得た

一、昨十五日ドイツ空軍は赤軍飛行機四十六機を擊墜破した、ドイツ空軍の損害二機

一、マルタ島空軍部隊はイギリス爆擊機三機を地上擊破したほか燃料庫を炎上せしめた

一、マルタ島ならびにキレナイカ方面の空中戰においてドイツ戰鬪機隊はイギリス機十五機を擊墜した

比島の役割愈よ重大

ヴァルガス長官談

【マニラ十六日同盟】シンガポールのイギリス軍無條件降伏の快報を携へてヴァルガス比島行政長官を訪へば同長官は包み切れぬ喜びを滿面に湛へて左の如く語つた

われわれの想像し得なかつた短時間にイギリスに白旗を揭げさせた素晴しい日本軍の武勳はなんとも賞讃の言葉がない、シンガポールの陷落により日本を盟主とする大東亞共榮圏の建設は劃期的進展を見ることゝなり、延いてはわが比島の大東亞における役割もますます重要性を增して來ること信ずる

敵脫出船舶も袋の鼠

【○○基地にて十六日若月海軍報道班員】シンガポール攻略において十日から十四日までの五日間に實に卅二隻の敵船舶を擊沈破した帝國海軍艦隊は引續きシンガポールからの脫出船舶を捕捉攻擊してゐるが、脫出船舶の中にも巧みに攻擊の目を潜つてバタヴイヤ、スラバヤなどに遁走したものもある模樣である、しかしシンガポール陷落しいよいよ第二次的作戰の段階に入ることゝなつた今日となつては彼らが何處へ逃げようとももはや問題でなく、バタヴイヤといひ、スラバヤといひ、シンガポールに比し防禦施設その他著るしく劣るものであつて要するに之らの遁走船舶も危機を脫したといふよりむしろ袋の中に入つた憐れな鼠と見られてゐる

ビルマ人感激

東條首相演說に萬歲絕叫

【モールメイン十六日同盟】東條首相が十六日の議會にてビルマ人のビルマ建設に援助せん旨を述べたことは、モールメイン市のビルマ人の間に異常な感激を呼び『ドバマ、ドバマ』(萬歲)の叫びが各所に沸いたがラングーンから當市に脫出して來たビルマの一要人はこの知らせを

われわれは東條首相の演說を聞いて日本こそ眞のわれわれの友人であることを確信しました、われわれが多年夢見てゐたビルマ人のビルマがいよいよ實現される時が來た、もしもこの演說がビルマ全土に傳へられたならば全ビルマ人は日本とゝもに大東亞戰に參加するでせう

と強く語つた

外務辭令 (十七日)

【東京電話】 總領事 矢野征記
兼任外務書記官(二等)
命南洋局勤務

人

◇湯村辰二郎氏(朝鮮木材會社々長)就任挨拶のため十七日來社
◇木谷重榮氏(同專務取締役)同上
◇表谷佐平氏(同常務取締役)同上
◇伊藤正懿氏(同)同上
◇伊達四雄氏(朝鮮土木協會長)十七日〃あかつき〃で歸城
◇大谷健介氏(日本產鐵社長)同上
◇佐原憲一氏(京城地方鐵道局文書課長)同上
◇朴興植氏(和信社長)十九日午後十一時十分京城驛發東上、三月六日歸城
◇藤木龍雄氏(朝郵社長)東上中のところ廿五日歸城の豫定

時の錄音

落城に引續き、シンガポールの市街工作早くも着々と進捗す

×

休養すら敢てとらざる皇軍の八面六臂の活動。たゞ涙の感謝あるのみ。

×

山下最高指揮官の膝下に屈へあがる敵將の顏觸を見よ。

×

中將は中將でもその內容が違ふ。

×

米のハート大將もどうやら西太平洋の藻屑と消えたらしい。

×

旗艦と運命を倶にしたのがせめてもの慰めだらう。

×

板垣軍司令官以下鐵壁陷落の眞義を說く。要は勝つて兜の緖を締めよだ。

將軍山下を語る

シンガポールは二月十五日に陥落する――馬來方面陸軍最高指揮官が山下中將と發表されるや、さう確信をもつて豫言した人があつた、中將が廣島の聯隊で若き中隊長だつた頃、一兵卒としてつかへた京城府鍾路町三三九盛谷正雄さんだ

東大門外の自宅に訪ねると

〝たうとう陥ちましたね、私が十五日にシ港が陥落するといつたのは單なる放言ではないのです、馬來方面の最高指揮官が山下中將であることを新聞紙上で讀んだ瞬間心にさう閃いたのです、どうしてといふことは分りませう、とに角さう思つたのです、これが靈感とでもいふのでせうか、山下閣下を非常にお慕ひしてゐるので閣下が遙か馬來の空から私に敎へて下つたのではないかなどとも考へてをります〟

から冒頭して盛谷氏は世界を震駭させた豪宕にして周密な馬來作戰の最高指揮官山下中將の溫かい、優しい人間味を語りつゞける【寫眞＝山下將軍揮毫の額を前に語る盛谷氏】

綽名は大陸中隊長
豪快而も緻密　當時を語る盛谷上等兵

私が山下閣下の部下だつたのは大正五年閣下が廣島歩兵聯隊の中隊長をしてをられた頃です、その頃閣下には綽名がついてゐました、大陸中隊長といふ名でした、この綽名が示すやうにその當時から豪快な方でした、太つ腹で人情に厚くて外の中隊の兵隊たちはみなうらやましがつてゐたものです

演習行軍があつて露營時に兵隊が飯盒を出して飯を食べはじめると山下中隊長は全員の飯盒の中味を見て廻り「お前はお菜が少いぢやないか」さう優しい言葉をかけられて自分の分を兵隊に割いて下さるといつたそんな方でした、兵隊と一緒に食事をされるときはどんな場合でも兵隊が食べはじめないと御自分は食事をされなかつた、ある演習中の出來事ですが、一人の兵隊が誤つて轉んで兵隊にとつては生命よりも大切な銃を眞二つに折つてしまつた、軍人は勿論重營倉に處せられることを覺悟してゐましたし、中隊全員がいろいろ心配してゐた、やむなく恐る恐る報告に行くと、山下中隊長はその兵隊の肩を二つ三つたゝいて

〝おい、さう暗くなるな、これからこんな失敗をするな〟

と論するどころか、むしろ慰めるやうにそれだけいはれたのです、その兵隊は嬉しさに涙をぽろぽろこぼして泣き出し、中隊全員が大へん感激したことがありました

とに角一度も部下を叱つたことがなく、それでゐてこの中隊長の下でならいつでも命を捧げよう、とみんな誓ひ合つてゐたものでした

山下中隊長は一年たつと參謀本部に轉出され、私は除隊してしまつて長い間いつも心に懷しく思ひながらお目にかゝる機會がありませんでした、昭和十四年山下中隊長は少將に榮進されて京城師團にいらつしやつたのです

私は早く官舍にお訪ねしました、何しろ二十七年前一兵卒として知つてゐるだけなのですからもう忘れて居られるだらうとは思つたのですが、懷しさにたゞ一目でもお會ひしたいと思つたのです、取次に名刺を通じると直ぐ大きな足音がして閣下が御自分で出ていらしやつたのです、覺えてゐて下さつたのです嬉しかつたですね、實に嬉しかつたですね、中隊長當時と少しも變らぬ元氣な口調で

〝よう、盛谷か、君は京城に居たのか、よく來たな、上れ上れ〟

と居間に通され、昔話に花が咲いたのですが、當時の中隊員の名を全部覺えてをられて、いろいろと安否を尋ねられました、驚いたことに私の本籍地の村の名まで覺えていらつしやるのです、到底眞似の出來ないやうな素晴らしい記憶力をもつてゐられるのですね、驚きました、それからといふものは一週間おきぐらゐに閣下のお宅をお訪ねしたのですが、私のやうな者が伺つてもいつも嬉しさうに喜んで迎へて下さいました、閣下は酒を飲まないのですが、行くたびに私には酒をつけて、いつまでも相手になつて下さいました、その合間にも有名な居眠りだけはちよいちよいなさいました、閣下の奧さまが

〝盛谷さんはよくこの癖を知つて居るからいゝんですが、初めての方は吃驚なさるのでほんとに困ります、居眠りで馬が倒れたとき（居眠りの演習で山下中將の乘馬が轡頭に當つて倒れたことがある）もやはり居眠りしてゐたかも知れませんね〟

とお笑ひになつて居られました、中隊長當時すでに馬の上でも悠々と居眠りをされてゐましたが居眠りはしてゐても、話は全部知つて居られるし、人間業ではありませんね、閣下は酒を飲まない代り、甘い物と果物が大好物で實に澤山たべられるのです、馬來ではきつとバナナを腹一つぱいたべて戰略を練られたことでせう

思ひ出の一つ一つが胸にしみ通るやうな懷しい慈父のやうな閣下です、その山下中將に指揮される皇軍がシンガポールを陥落させたのです、私ももう一度若返つて閣下の部下として馬來で戰ひたかつた

盛谷さんは語り終つてそつと目を閉ぢた、山下中隊長――山下馬來方面最高指揮官、二つの顏が重なり合つて胸の中になつかしく思ひ出されてゐるに違ひない

擧げる歡喜の祝盃
遺族に贈る南總督の揮毫
戰捷第一次祝賀日

十八日は全國一齊に戰捷第一次祝賀日と定められ内外地を通じて民一億が歡喜と感激との諸行事を繰擴げるが、この日總督府でも午前十時から朝鮮神宮大前に擧行される戰捷奉告祭に征戰完遂祈願祭に南總督をはじめ各課長以上が參列するほか次の要領で祝賀行事を展開する、まづ午前十一時廿分から總督府玄關前に南總督以下全職員が參列歡喜と感謝とを籠めて祝賀式を擧げる

式は宮城遙拜、國歌合唱、默禱、詔書奉讀、南總督訓示、皇國臣民の誓詞齊誦、萬歳を三唱して閉式、一同散會して廳内に入り正午の默禱後各課で冷酒を酌んで祝杯を擧げる

次いで午後一時から擧行される全府を擧げての旗行列には各課から三百名を選び總督府代表として參加せしめる、この時南總督は參加者集合所に臨席、天も裂けよと絶叫する萬歳に答禮する、なほこの日各課では出征軍人遺家族宅を慰問し慰問品を、また戰歿者遺家族には「忠烈千古香」「忠勇義烈」「忠節香」などの總督揮毫を贈呈して英靈を慰める、夜は五時から府民館に開かれる三聯盟主催の祝賀會に課長以上が參加するなどこの一日を擧げて祝賀する【寫眞＝總督の揮毫】

朝鮮軍の祝賀

全半島あげてシンガポール陥落を祝ふ戰捷第一次祝賀日十八日は朝鮮軍では當日午後零時半軍司令部高等官食堂に板垣軍司令官をはじめ軍幹部が集合、簡素な祝宴を催し、遙か南方に向ひ戰友の敢鬪に感謝の盃をあげることになつてゐる

感激に踊る大京城
絢爛！本社の祝賀大會始る

〝寿げしき浮かれ心は新玉の年はのどけき光かな〟ぽんぽりに舞台は溢れて、萬色絢爛、つつん、つつんと太棹の音につれ獅子港占領祝賀の緞帳はあがつた、十七日シ港陥落を記念して本社が百萬府民に贈る華麗絢爛の奉祝慶祝第一日――東券番、漢城券番などの綺麗どころが長唄、手踊、奉祝踊りなどに戰捷の感激を乘せてつぎつぎと繰展げたが、これよりさき千田京城府總務部長の開會の挨拶に次いで〝いまからでも遲くはない〟と二・二六事件に涙とともに兵に呼び掛け一躍國民を感泣させた現京城師團報道部大久保中佐は壇上に立ち

〝シンガポールは遂に陥落した慶祝の意氣は全日本はおろか全東亞を蔽つてゐると思ふ、大いに慶祝して欲しい、慶祝は戰捷を祝ふ熱血の震撼を遠くイギリス、アメリカまでも送る意氣でなくてはならない、天も轟け地も裂けよと大いに慶祝して欲しい〟

と慶祝の新しい意義を說き、ついでシンガポール陥落の軍事的、經濟的、文化的意義を熱烈なゼスチュアーに乘せて堂に溢つる約三千の聽衆に叩き込んだ、なほ慶祝祝賀大會は後二日間續く【寫眞＝舞 演ずる大久保中佐】

笑ふ本五町會

「ワッハッハ」と町内の老若男女が顎をはずして心から樂しむ朗らかな戰捷風景……十七日正午から京城本町五丁目町總代では松下町總代が賑のいゝ所を見せて町内の老幼を樂ませる第一次戰捷祝賀會を朝日座に開催、定期、緊急班員と家族五百名參加、國民儀禮、國歌齊唱、津田榮さん外四名の優良班員に表彰狀授與「シンガポール陥落の意義」と題する總力聯盟幹事津田剛氏の講演、萬歳奉唱で閉式、餘興の漫才、舞踊の笑劇の作製に爆笑の渦を捲き午後四時和やかに閉會

南さん・祝電攻め
盟邦からもぞくぞく

獅子港陥落に湧き立つてゐる半島二千四百萬同胞に敬意を獻ずる祝電は南總督の机上に山積、陳さんを始めこれを取次ぐ秘書官室の人々を喜ばせてゐるが祝電の中には高平南知事、高尾慶北知事をはじめ盛岡鎭撫のザ・ウエル司教、遠くは大連のビショップ福音靈督事、伯爵のカール・レーモン氏などの盟邦の人たちからのものがあり、このところ南さんは答辭を述べる人たちの應接に多忙を極めてゐる

朝鮮金融團から感謝電文を發送

獅子港陥落の歷史的戰捷にあたり朝鮮金融團では皇軍感謝決議電文を議決、松原幹事長の名をもつてこのほど陸海相、寺内南方陸軍最高指揮官、山下マレー方面最高指揮官宛それぞれ打電した

ウエールズ號遺品海軍館に陳列

【東京電話】去る十二月十日マレー沖の海戰でわが海鷲の猛攻により敢なく沈沒したプリンス・オブ・ウエールズの遺品がこの程前線から海軍省に到着し十七日から澁谷區原宿の海軍館に陳列一般の觀覽に供せられることとなつた、これは同艦附屬のフイリップス イギリス東洋艦隊司令長官用短艇が沈沒した同艦から、たゞ一艘離れてぷかぷかジャヴァ島沖に漂流してゐるところを去る一月十三日わが潜水艦が發見白地に黑々と「プリンス・オブ・ウエールズ」と書かれた同艦艦番號をはじめ數點を鹵獲して持返つたものである、なほマレー戰陣なる去る一月七日スリム戰で戰車に困憊した敵戰車隊付の重機關銃、擲彈筒がこの程現地から届けられ十六日から九段遊就館に陳列一般に公開された

お小遣を獻金

京城府大平通二ノ三五八朝大同國民學校四年生吉川〓部君（一二）はシンガポールの陥落に感激、昨年十月頃から貯金した五圓、十錢のお小遣二十三圓二十錢を十七日お父さんの與仲氏に伴はれて本社に持參『兵隊さんにあげて下さい』と獻金の手續きをとつた

ブリキの闇

龍山署經濟係では京城府[illegible]を價格等統制令違反で取調べてゐるが、同人は昨年十二月前後三回に亘つて京城大島町四二一[illegible]に對しブリキ兩一萬四千四十二枚の公價を無視してカーペイト公價六萬四百圓を五圓で賣渡し、二萬三十一枚の不當利得を貪つてゐたことが發覺したもの

大島良士氏嚴父

大島潔氏（協同油脂社長大島良士氏嚴父）病氣療養中二月十六日午後十時半逝去、享年七十八、葬儀は十八日午後四時本町三丁目開教院において執行

京電から廿萬圓

シンガポール陥落を慶賀して京城電氣株式會社では、二十萬圓を醵出、國防獻金として陸海軍へ各十萬圓宛獻納することとなり、感激に沸き立つ十七日午前十時半同社武者社長は同社總務部長同道、朝鮮軍を訪問、倉茂報道部長を通じこれを獻納、終つて同十一時海軍武官府を訪問浦田武官に仲介を通じそれぞれ獻納、いたく感謝された【寫眞＝武官府へ獻金】

出光會社でも

出光興産株式會社京城支店では將士諸の勞苦を謝して陸、海軍へ各五百圓宛獻金すべく十七日本社に寄託した、なほ同社員一同も國防獻金へ二百圓總額二百五十圓を同時寄託

落下傘部隊 初の實戰記録
敵中へ空から突撃
壯烈、任務果して自爆

【○○基地十六日同盟】突如として敢行された帝國陸軍落下傘部隊精鋭によるスマトラ島パレンバン飛行場および精油所に對する奇襲攻撃は見事成功、わが陸軍戰史に劃期的な一頁を記録したが、十六日同部隊パレンバン攻撃の第一報が左の如く○○基地に寄された、なほこれは帝國陸軍により行はれた落下傘部隊最初の實戰記録である

十四日午前九時○○飛行場で部隊長の訓示をうけ次ぎ次ぎに離陸したわが落下傘部隊の○○機大編隊は紺碧のマラッカ海を眼下に見下ろしつゝ一路南下した、機上の勇士達はこれから數時間後には敵の眞つ只中に飛び込んで行く選ばれたる晴の首途だ、輕快な服裝に固めた見るから敏捷さうな顏へあびられた爆音プロペラの轟音の中にぢつと眼を閉ぢてゐる無念無想の死を賭けた顏にも不屈の鬪魂が溢れて實に頼母しい めざすパレンバンの北方海上に達するや編隊は大きく旋回、攻撃の態勢は整へられた、本隊はパレンバン飛行場へ他の一隊はパレンバン精油所へ各見事な編隊をもつて突進だパレンバン上空へ差しかゝると空は見渡す限り眞つ黒に染つてゐる、目下盛んに炎上中と聞いてゐるシンガポールの重油タンクから上る煙が遠く三百キロ南の此處まで流れて黑ひ空を黒く蔽つてゐるのだ同飛行場上空だ敵は早くもわが編隊を認め盛んに高射砲、高射機關銃を撃ち出して來た、命令一下降下する殺到のうちに勇士達は「やつ、やつ」と掛聲を殘し驚くべき敏捷さで瞬く間に全員飛び下りてしまつた、降下した勇士は何んといふ早業だらう、すでに四方に散開して戰鬪を開始してゐる、この飛行場は密林だつたところを切り開いてつくつたもので、場内は丈なす草で蔽はれ降下部隊は隣に下りた戰友の姿さへ見失ひ勝ちだつたが豫じめ申合した目標に對する電撃攻撃は手際よくばたばたと運び、格納庫は全飛行場と事務所の建物を忽ち占領し なく地上には大型、小型取り交ぜ○○機の敵機があつた、これらは全部わが部隊の鹵獲するところとなつた、つゞいて翌十五日にも有力なる後續部隊がパレンバン飛行場に陸續降下また荒鷲部隊も強行着陸して多量の兵器彈藥が送り届けられすでに同飛行場は完全にわが手で確保されてゐる、狼狽した敵はパレンバン市方面から増援部隊を送つてゐるが十二分に準備成つたわが部隊はこれを悠々撃退目下戰果擴張中である、一方パレンバン精油所占領に向つた一部隊も同様敵中に降下忽ちにして遮二無二攻撃に移り戰果を擴張中で十四日同精油所は二ヶ所から火を發し黑煙天に沖してゐるのが認められた、なほ飛行場に向つた部隊には一機、精油所に向つた部隊には二機何れもホーカー、ハリケーンと覺しき敵機が襲撃し來つたが二機とも落下傘部隊に同行の戰鬪部隊によつて擊墜された、この攻擊において精油所に向つたわが編隊中一機は目的地上空で不幸敵彈をうけ機體から白煙を吹き出したがそのまゝ飛行をつづけ目的地上空で機上の勇士を全部降下せしめ任務を達成するやぐいと機首を地上に向け壯烈な自爆を遂げたその責任感と壯烈なる精神は今次パレンバン攻撃の壯烈なる一挿話として全部隊を感激せしめてゐる